

## 太福寺から鐫射寺・塩田八幡宮を訪ねる

第80回 武庫川エコハイク  
013. 12. 14. エコグループ武庫川

**武庫川** 全長 65km、流域面積 500km<sup>2</sup>。篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の7市1町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える2級河川である。「武庫川」の名は下流の蓬川の西側が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門(むこみなと)」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。本川の源流は篠山市にある。篠山市から三田盆地までは緩やかな傾斜であるが、道場を過ぎると武庫川渓谷の急流となる。武庫川下流の治水対策として武庫川渓谷に治水ダムが計画されたが、県は武庫川流域委員会を設置して2年半にわたり協議した結果、平成22(2010)年10月、20年間はダムによらず流域対策と堤防強化、河道掘削で治水対策を実施することとなった。

**JR道場駅** 阪鶴鉄道が三田まで開通した明治32年(1899)に開設された。千苧水源池、鎌倉峡、百丈岩ハイキングの玄関口。

**富士チタン工業(株)神戸工場** 石原産業(株)の100%子会社。神戸工場では酸化チタンの製造をしている。同社の酸化チタンは繊維用艶消し剤(シェア60%)、カード用PETフィルム白色顔料に使われている。(同社ホームページより)。武庫川から取水している。

**不動岩** ロッククライミングのメッカ。

**生野** 道場町生野。古くは「塩生野(しりち=尻地)」と呼ばれていたが、「塩」が省かれ、「生野」になったと言う。尻地とは三田盆地の下端、渓谷の入り口から来たものと思われる。

**太福寺** 真言宗御室派の寺で山号は三鈷山。聖徳太子が3才のときに疱瘡にかかり、太福寺山中の滝に打たれて治癒したという伝承があり、聖徳太子創建、法道上人開基と伝えられる。本尊十一面観音菩薩像のほかに聖徳太子三歳像があり、ともに聖徳太子の作と伝えられるが、北側の鐫射寺、光明寺がともに聖徳太子ゆかりの寺である。これはこの生野地区が14世紀から四天王寺領だったことと関係がありそうである。毎年2月に行われる「雀のお頭」という行事は神戸市無形民俗文化財となっている。

**中野古墳群** 太福寺の前に駅北支群5基がある。これらは6世紀後半に築造された鐫射山の西側にある20基以上の古墳群のひとつである。

**鐫射寺(かぶらいじ)** 真言宗単立の仏教寺院で山号は独鈷山(とっこさん)。通称、甘楽寺(かぐらじ)。敏達天皇10(581)年、聖徳太子による開基。聖徳太子が伽藍を建てられた時鐫矢を奉納され鐫射寺と命名されたという。明治6年三田九鬼藩天誅組により放火され廃寺となったが、昭和34年再建されて各堂宇も再建されて現在に至る。本尊は大日如来。摂津西国三十三箇所第10番札所。

境内の池には大賀一郎が縄文遺跡で発見した古代のハス(大賀ハス)が育てられている。鐫射山頂には鐫射寺城があった。今は鐫射大権現が祀られている。

**光明寺** 聖徳太子創建、行基開山といわれ、山号は五鈷山。本尊は薬師如来。もと真言宗の寺院であったが文化元(1804)年曹洞宗永平寺直末寺となる。その後荒廃し山門のみを残す状態となっていたが、墓地公園を経営するようになり現在の姿となった。

兵庫県観光百選にも名を連ねる、四季折々に風雅なたたずまいを見

せる景勝地でもあり、晩秋には、境内の紅葉が鮮やかに色づく。近くに不動滝、百畳岩がある。

**神戸市自然歩道・太陽と緑の道** 昭和47年に開設された。途中から近畿自然歩道に合流するが、今回は千苧水源地際の土砂崩れで通行止めのため光明寺までとし、塩田八幡宮を経てJR道場駅のコースとする。

**国鉄有馬線廃線跡** 有馬郡の開発振興を図るため三田と有馬温泉を結ぶため、大正3(1914)年地元有志により有馬鉄道株式会社が設立され、鉄道免許を受けて同年に工事に着手、翌年三田駅と有馬駅間12.9kmが開通した。途中で塩田、新道場、有馬口の3駅があった。開通と同時に国鉄がこれを借り受けた。昭和18(1943)年軍需輸送に無関係な路線とされ廃線となった。資材は製鉄用珪石を運搬していた篠山線に転用された。塩田駅は塩田八幡宮参道の東側にあり無人駅であった。

**下田中旧武庫川跡** かつての武庫川は三田盆地を大きく迂回しながら流れていたが、度重なる洪水の被害から守るため、昭和50年代に河道を直線化し堤防も強化した。地形図や航空写真から昔の武庫川の姿が浮かび上がってくる。現地では当時の武庫川の形がそのまま水田になっている。

**塩田** 道場町塩田。生野と同じく「塩生野(しりち=尻地)」であったが生野と塩野(塩田)に分かれた説があるが、不詳。塩瀬、名塩、有馬温泉(潮湯)など塩分を含んだ土地との節もある。

**塩田八幡宮** 創建年代は不詳だが、かつて塩田庄と総称される以前の創建で、すでに大同年間(800ごろ)には御年神を祀る大歳神社として存在していようだ。その後、山城国石清水八幡宮より応神天皇・神功皇后・玉依姫の御霊を勧請合祀するにいたり、石清水八幡宮の別宮として(塩田)八幡宮と称号するようになった。数次の戦禍を受けたが明暦3(1657)年三田藩主九鬼隆昌により再建され、九鬼家の崇敬を受けてきた。本殿は明暦3(1657)年九鬼家によって再建された。正面に千鳥破風・軒唐破風をつけた三間社流造で多彩な彫刻が各所にある。神戸市指定文化財。樹齢450年といわれるヒノキとヤマモモはご神木とされている。裏山は別宮山という城があったという。

**月見橋** 江戸時代の「摂津名所図会」に残る月見橋は八幡宮の山裾に流れていた塩田川に架かる。在原行平などの文人に愛されたという。現在の月見橋は有馬川宮前橋の上流にある。

**在原行平と松風・村雨** 平安時代在原業平の兄行平が塩田に逗留中この地の松風・村雨の姉妹と懇意になり、月見橋から3人で都恋しと月を眺めたという。世阿弥の能楽「松風」には須磨を舞台に風と村雨が出てくる。

**尼崎学園と唐崎城址** 有馬川と武庫川の合流点の山上に尼崎市の児童養護施設「尼崎学園」がある。ここには南北朝時代に唐崎城があった。

**有馬川と武庫川の合流点** 有馬川が注ぐ武庫川の合流点に立つと武庫川と有馬川の高低差がよくわかる。高低差の大きな有馬川の水が強く武庫川の水に打ち勝って武庫川の流れを阻害する。

## 大阪湾フェニックスセンター助成